

ハミガキにもうひとつ工夫【3】

ワンタフトブラシについて

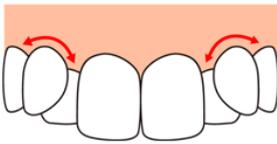
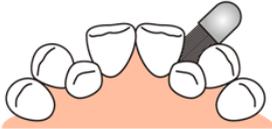
「歯の健康教室」は、スマートフォンでもご覧いただけます。



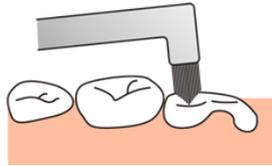
歯ブラシ 1 本だけで、口のなか全体をきれいに磨こうと思っても、歯並びや歯の本数によって磨ききれない部分必ず出てきてしまいます。

特に、歯と歯の間、歯並びのきつい部分、歯の根元部分などの磨きにくい部分について、当院では、患者さんの歯並びや歯の本数などの口の状態や、それぞれの箇所にあった補助器具の使用をおすすめしています。

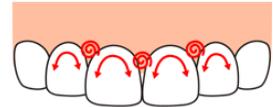
ワンタフトブラシは、小さくて磨きにくい乳歯や、生えはじめで背の低い歯、孤立している歯、歯並びのきつい部分、矯正器具のまわりなどを磨くのに効果的です。



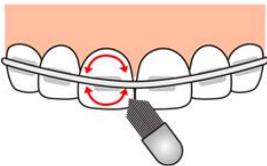
複雑に入り組んでいる歯に、毛先をしっかり届かせて磨きます。



ブラシが正確に咬む面に当たるように気をつけて磨きます。
※歯の高さが低い臼歯は、ブラシを当てる感覚がつかみづらいものです。正確に咬む面にブラシを当てて、開けるようにすることが大切です。



歯肉の境を、筆でなぞるように磨きます。



矯正装置の周辺を重点的に磨きます。



孤立歯周囲の歯頸部に、毛先を安定して当てるのが大切です。

